

2019年度
学校自己評価報告書

評価対象期間
2018年4月 1日
～
2019年3月31日

評価対象者と評価項目

- (1) 評価回答者数・本校教職員：17名
・本科在校生：77名
・在校生保護者：12名

(2) 評価項目と評価方法

- ・評価項目（大中項目）については次ページ記載の通り
- ・評価方法 →4段階評価にて実施
4：適切(そう思う)、3：ほぼ適切(ほぼそう思う)、2：やや不適切(やや思わない)、
1：不適切(思わない)、0：知らない・分からない)

【評価項目】

(1) 教育理念・目標

1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）
2	学校における職業教育の特色は何か
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

(2) 学校運営

6	目的等に沿った運営方針が策定されているか
7	運営方針に沿った事業計画が策定されているか
8	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
9	人事、給与に関する規程等は整備されているか
10	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか
11	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
12	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
13	情報システム化等による業務の効率化が図られているか

(3) 教育活動

14	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
15	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
16	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
17	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
18	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
19	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
20	授業評価の実施・評価体制はあるか
21	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
22	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
23	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
24	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
25	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか
26	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか
27	職員の能力開発のための研修等が行われているか
28	教職員の業務に対するモチベーションは維持されているか
29	学校は教職員の業務に対するモチベーションを維持・向上するための取り組みを実施しているか

(4) 学修成果

30	学生の勉学や就職・資格取得に対するモチベーションは維持されているか
31	学校および教職員は学生のモチベーションを維持・向上するための取り組みを実施しているか
32	就職率の向上が図られているか
33	資格取得率の向上が図られているか
34	退学率の低減が図られているか
35	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
36	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校のエデュケーションの改善に活用されているか

(5) 学生支援

37	進路・就職に関する支援体制は整備されているか
38	学生相談に関する体制は整備されているか
39	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
40	学生の健康管理を担う組織体制はあるか
41	課外活動に対する支援体制は整備されているか
42	学生の生活環境への支援は行われているか
43	保護者と適切に連携しているか
44	卒業生への支援体制はあるか
45	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
46	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

(6) 教育環境

47	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
48	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
49	防災に対する体制は整備されているか

(7) 学生の受入れ募集

50	学生募集活動は、適正に行われているか
51	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
52	学納金は妥当なものとなっているか

(8) 財務

53	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
54	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
55	財務について会計監査が適正に行われているか
56	財務情報公開の体制整備はできているか

(9) 法令等の遵守

57	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
58	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
59	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
60	自己評価結果を公開しているか

(10) 社会貢献・地域貢献

61	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
62	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか
63	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか

(11) 国際交流

64	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか
65	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか
66	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか
67	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

【2019年度評価平均点・学校自己評価委員会意見】

項目	対象	2019年度	昨年
(1) 教育理念目標	教職員・学生・保護者	3.18	2.99
(2) 学校運営	教職員・学生・保護者	3.12	2.97
(3) 教育活動	教職員・学生・保護者	2.84	3.01
(4) 学習成果	教職員	2.96	3.07
(5) 学生支援	教職員	2.84	3.05
(6) 教育環境	教職員・学生・保護者	2.99	2.76
(7) 学生の受け入れ募集	教職員・学生・保護者	2.98	3.03
(8) 財務	教職員	2.98	3.28
(9) 法令遵守	教職員	3.06	3.14
(10) 社会貢献・地域貢献	教職員	2.90	2.81
(11) 国際交流	教職員・学生・保護者	3.21	2.68

学校自己評価委員会

- ①ここ数年での学校環境が大きく変化していきている中、中期的なものだけでなく、学校の理想像、教育面、財務面も含めての発信、また理念の周知・浸透については、恒久的に行っていく必要がある。
- ②学校の方針として、教育レベルの将来的な着地点をどの程度に設定するか明確にする必要がある。またそれを目指すにあたっての職員教育、職員採用を体系的かつ中期的視点においても行う必要がある。
- ③企業ニーズをいかにデータ化し、教育内容、広報活動、教職員研修等、一貫通貫の中で連携して取り組みを行っていく必要がある。
- ④実学の基本理念に対し、実施していきたい教育内容と職業実践専門課程での教育内容が乖離せず、相乗効果の中で取り組む必要がある。
- ⑤事務処理の簡略化（紙、データ処理の仕分けやワークフローの見直し等）を進めることで、教育的業務により時間を割けるようにしていく必要がある。
- ⑥研修の体系化、中期的視点での受講等、点のだけの視点でなく、面でみる研修の導入の必要がある。特に個人情報管理やハラスメント、インストラクションスキル向上については、定期的かつ継続的な研修が望まれる。

2018年度学校関係者評価報告書

フォーラム情報アカデミー専門学校
学校関係者評価委員会

学校自己評価委員会が作成した「2018年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。
その結果を以下の通り報告します。

1. 学校関係者評価委員会

<評価委員>

●業界団体関係者委員

- ・石塚 透 氏 (新潟市ソフトウェア産業協議会：監事)
- ・大橋 秀 氏 (新潟マーケットイノベーション：代表理事)

●企業委員

- ・劉 兆岩 氏 (株式会社JCT：代表取締役)
- ・漆原 尚 氏 (株式会社ポルトプラディア：代表取締役)
- ・穴沢 幸二氏 (株式会社リアンビション：取締役)

<事務局>

- ・小澤 孝至 (学務部部长)

<参考出席>

- ・坂口 伸昭 (学校長)
- ・澁川 直弘 (事務局長)
- ・柳 隆文 (教務部部长)
- ・樋山 岳寿 (教務部マネージャー)
- ・野中 正之 (教務部主任)
- ・松永 隆男 (教務部教員)
- ・伊藤 麻子 (教務部教員)
- ・久嶋 亜矢美 (教務部教員)

2. 基準項目毎の学校関係者評価・意見

<p>(1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学習成果 (5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生の受入れ募集 (8) 財務 (9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献 (11) 国際交流</p>	<ul style="list-style-type: none">・学校自己評価をどの様に行ったのかをわかるようにしてください。・「対策」の主管が多岐にわたっており、わかりにくいです。総教員数に対しての多数のグループが存在しているが、組織構成がわからないので、全体としてわかりにくいです。・集計結果をただ単にまとめるのではなく、考えを持ってまとめた方が良いと思います・評価点の内訳（人数）もわかった方が良いと思われます。・点数が低いものは、全て高得点を狙わなければいけないのか？人員も限られていることから、評価に優先順位をかけ、重要度が高いものから対応していくべきだと考えます。・「卒業生の状況の管理、把握が不十分」とあるが、人脈作りと言った意味でも専門学校にとって重要だと思われます。・「留学生自身がグローバル化に対応していない」とあるが、対象のコンテストに参加していないから評価が低いのか。そして国際的に有名なコンテストとは何か。具体的なコンテスト等が記載されていると、判断しやすいと思います。・アンケートの設問内容が書いていないため、何が評価されているのか不明です。今後、アンケート項目自体の記載もお願いします。
---	---

以上